



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1
- 今月の名言 1
- 今月の視点
- 今月のジョーク 2
- 今月のジョーク 3
- 今月のお知らせ
- 今月の新着情報



<http://zoesangels.org/>
Go オーストラリアグルー
プは、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。

Go Australia
Visa Consultant

Go Australia Concierge

Go Australia
Business Solutions

Conveyancing Home
QLD

Shimizu Kokusai
Law Office



今月のジョーク 其の壱

東京人、大阪人、名古屋人が会食しました。
会計のとき、

東京人 「・・・予算足りるかなあ」と考える。
大阪人 「割り勘でなんぼになるか」と考える。
名古屋人 お礼の言葉を考える。

(ジョーク集より)

今月の名言 其の壱

「ジェームス・ラブロック」

地球はそれ自体が大きな生命体である。全
ての生命、空気、水、土などが有機的につ
ながって生きている。これを GAIA(ガイア)
と呼ぶ。

ジェームス・ラブロック(1919年～):環境主義者

今月の視点

1. 愛国心パート①

女子ワールドカップサッカーチームなでしこが優勝こそ逃したものの、準優勝は立派な結果で
した。準々決勝ではオーストラリア代表との試合でしたが、試合運びからは王者の貫録さえ感
じられました。決勝戦は、どこかアメリカの勢いに押されてしまった感はありましたが、強豪なで
しこは存在感を世界にアピールしました。日本代表がプレイする時は、必然的に日本の応援に
力が入ってしまいます。やはり、これが愛国心というやつでしょうか。

2. 愛国心パート②

オーストラリアに暮らしておりますと、オーストラリア人の愛国者精神を強く感じる 때가度々あ
ります。スポーツが盛んなオーストラリアですが、何かと大きな試合の前では整列、規律しての
国家斉唱があります。そんな時、音痴であろうと関係なくオーストラリア人は誇りをもって国家を
斉唱しています。胸を張って歌える国家があるということは、とても重要なことです。正に選手
たちにとっては、愛する国、自分が属する国があるということを感じられることが強く心の拠り所
になります。海外生活が長い筆者も海外で「君が代」を聞きますと、ふとこみ上げるものを感じ
ることがよくあります。

3. 愛国心パート③

オーストラリアでは、ANZAC デイという戦没者や退役軍人の功労をお祝いする日があり、この
日ばかりはオーストラリアに住む日本人は多少肩身の狭い思いをすることとなります。「国のた
めに戦ってくれた兵隊さん、ありがとう。」こうした感謝を心から国民が行い、そしてそれを兵隊
の方々は誇らしげに受け止めます。そこには、祖国のために戦うという誇り、家族のため、そし
て愛する者を守るために立ち上がった人たちの勇気とプライドがあります。そして、それを純粋
に誇りに思う国民がいます。残念ながら、敗戦国の日本には、こうした兵隊さん達に対して誇り
を感じるということが素直にできなくなってしまいました。

4. 愛国心パート④

安保法改正で日本の国会は大騒ぎです。徴兵制にまでつながる、この改正案は問題だとい
う声も聞こえてきます。この改正案だけで徴兵制まではつなげると考えられませんが、国が自分
自身の国を守れないということは国自体の存亡につながる大変重要な問題です。そのため、
自分で守れなければ、どのように守るかを考えなければいけません。「周辺国の脅威」というあ
やふやな言い方をしていますが、その対象は明らかに中国です。中国が日本にせめて来た
ら、どうなるか？アメリカは極東の日本という国を中国という大国を敵に回してまで守ってくれる
のでしょうか？アメリカの兵隊さん達は母国のアメリカのために命を落とすことは平気でも日本
のために、命を落とす覚悟をしてくれるのでしょうか？

5. 愛国心パート⑤

おそらく、アメリカが日本を同盟国として中国を敵に回して守るということはないでしょう。そうす
れば、本当に日本は徴兵制度のもと、国民の中から戦争に送り出す人間を強制的に集めなけ
ればならないことがあるかもしれません。とあるニュースでは、今の若者で国のために戦争に
行く覚悟があるというのは2割も満たないということでした。自分の国を守るという気概は今の
日本人からはなくなってしまったのでしょうか。戦後70年、世界大国を相手にやりあった日本
の大和魂はすっかりふぬけにさせられてしまったのでしょうか。

6. 愛国心パート⑥

どこの国にも属することができない政治的難民の方をオーストラリアに定住させるという仕事もやっております。その中で、そうした難民の方からの声としてよく聞くのが、どの国からも自分達の存在を認めてもらえなかった自分達が初めてオーストラリアで住むことを認められ、オーストラリアのパスポートも持つことができた。私たちはオーストラリアに大変恩義があるから、もしオーストラリアに万が一のことが起こった場合には私たちは真っ先にオーストラリアのために戦うつもりだ。オーストラリアで生まれ育った生粋のオーストラリア人よりも、オーストラリアのために命も捨てるという愛国心が生まれる場合もあります。

7. 愛国心パート⑦

一概に日本人だけではないですが、日本人は国への恩義を感じる事がなくなってしまったのかもしれない。平和で、日々何の心配もなく暮らせる国。次に食べ物を食べられるのがいつになるかわからない、いつ爆撃を受けるかわからない、いつ人身売買で売られるかわからないといった心配を抱える国々に暮らす人々からすると日本は天国です。外国から日本を眺めると、どれほど素晴らしい国に住んでいるのかを改めて認識することができます。そのおかげで、国への恩義を改めて感じ、そして愛国心がふつふつと湧いてくるものですが、日本に住んでいるだけであれば、そのことになかなか気づかないですね。

8. 愛国心パート⑧

長くなりましたが、何だかんだ言っても日本もオーストラリアも最高！

今月のお知らせ

先日、当グループが主催する Zoe's Angels Fun Dive がブリスベンで行われました。通常、一般開放されない飛び込み台を一般開放し、普段はオリンピック競技の一つとしてテレビでしか見る事のない飛び込みを一般の人も行えるようにしたイベントでした。当日は 300 名以上の方が集まり、各種ゲームや QLD 州やオーストラリア代表選手によるデモンストレーションが行われました。回を重ねるごとに大きくなるこのイベントですが、その分我々の準備も増えます。しかし、それもチャリティとして皆和気藹々と楽しみました。次の大きなイベントは 300 人を集めるディナーパーティです。今年はこちらはハロウィンと重なるため、ハロウィンパーティとして行われます。昨年以上にいろいろな豪華賞品の当たるくじ引きやチャリティオークション、サプライズゲストなど盛りだくさんですので、ご興味のある方は当グループまでご一報ください。



今月のジョーク 其の貳

(ジョーク集より)

ドクター:「悪い知らせと、もっと悪い知らせがあります。どちらからお聞きになりますか？」

患者:「えー・・・では悪い知らせから」

ドクター:「・・・実はあなたの余命はあと 2 日です。」

患者:「おお、何だって・・・まだまだやりたい事もたくさんあったのに・・・でもこれより悪い知らせなんてあるんですか？」

ドクター:「それを昨年言い忘れました。」

今月のジョーク 其の参

(ジョーク集より)

ある所に息子夫婦と舅(しゅうと)が三人で住んでいた。一年前に他界した姑女(しゅうとめ)は、とても温和で上品な人、嫁にも優しい人であった。が、舅の方はそれと反対に、頑固で少々意地の悪いところがあった。かいがいく世話をする嫁の行動に、いちいち文句をつけるのだ。

中でも味噌汁については

舅:「婆さんとは全然味が違う、なっとらん！本当に覚えが悪い嫁だ！」

と毎日嫁を怒鳴りつける始末。

ある日、とうとう頭に来た嫁は舅に出す味噌汁の椀に、こっそりと殺虫剤を振りかけた。

その味噌汁を一口すすった舅が一言。

舅:「これじゃよ！この味じゃよ！！

婆さんの味噌汁は！！」



今月の新着情報

- ホスピタリティー業界での 457 ビザ -

現在、レストラン、カフェ、テイクアウトフード店など 56,000 人も労働者が不足しており、近年の同業界の経済成長(どの業界よりも高い 8.5%の成長)から、2018 年 11 月までに更に 43,700 人の労働者が必要になると予測されています。

この度、Restaurant & Catering Australia(レストラン&ケータリング・オーストラリア)と政府との協議が行われ、人手不足(特にシェフ、コック、レストランマネージャー)に悩むホスピタリティー業界の雇用主が、少しでも経済的負担を減らして外国人労働者を呼び寄せらるようにと、457 ビザの最低給与を現行の 10%減にしてもらうなどの特別労働協定が結ばれることとなりました。その他、雇用主の義務の見直し、英語力や資格などの見直しも行われます。

Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 5, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)
日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com